

令和元年度（２０１９年度）第２回「柏崎市男女共同参画審議会」議事録(概要)

日 時 令和元年（２０１９年）６月２８日（金）１５：００～１７：０５
会 場 柏崎市役所 会議棟２階 第２会議室
出席委員 阿部委員、新野委員、上野委員、遠藤委員、海津委員、木下委員、杉山委員、
高橋委員、西巻委員 ９人
(欠席：板羽委員、岡田委員、長澤委員)
事 務 局 人権啓発・男女共同参画室
総合企画部長 箕輪、室長 木村、主幹 宮崎、係長 大橋、主任 長橋

概 要

市民意識調査・事業所調査・中学生意識調査の内容及び平成３０年度（２０１８年度）の各事業担当課実施事業に係る一次、二次評価に対する、審議会委員による評価について、協議検討を行った。

１ 開 会

２ 総合企画部長あいさつ

３ 会長あいさつ

４ 議 事

(1) 市民意識調査・事業所調査・中学生意識調査について

(事務局から資料１－１から１－３について説明)

議長 市民意識調査で意見、質問はあるか。

A委員 問７の職場の従業員数は、自分が働いている場所は分かるが全体となると分からない。分からない場合はどこに付ければいいか。

総合企画部長 「分からない」を追加する。

B委員 問１１の３「子どもができるまで職業をもち」、そこだけ「もち」がひらがなになっている。

事務局 修正する。

C委員 問２３「相談できる窓口を知っていますか」で、聞きなれない部署の名前が並んでいる。例えばここに連絡先を入れれば、問２２で「経験がある」と答えた人に情報提供ができると思う。そこまで必要かどうかだが、アンケートという主旨を考えると必要ないかもしれない。

D委員 市役所や警察署であれば思いつくが、〇〇課となると分からないに付けた方がいいのか迷ってしまう。

議長 １は「柏崎市役所福祉課」となっているが、「柏崎市役所」だけにしてしまうと本当の窓口ではない。

E委員 この窓口の知名度を知りたいということか。課まで書かれたら分からない。

B委員 でもそれが現実だ。

人権啓発・男女共同参画室長 前回調査の問１６で、多い回答は「市役所福祉課」、「警察署生活安全課」、「相談できる窓口を知らない」になっている。

E 委員 数字を見ると、市役所、警察署で認識をしているようだ。

人権啓発・男女共同参画室長 そういうことであれば「柏崎市役所(福祉課)」、「柏崎警察署（生活安全課）」、「新潟県警察本部（性犯罪被害相談電話）」、「新潟地方法務局（柏崎支局）」とする。

E 委員 ４の「新潟県女性福祉相談所」は県庁の中の窓口なのか。独立しているのか。

総合企画部長 県庁の中ではない。

B 委員 電話番号は入れるか。

人権啓発・男女共同参画室長 アンケートなのでそこまで考えていない。

C 委員 こういう所があると知ってもらえれば、情報提供ができればいい。

事務局 別に作って入れることは可能だ。

議長 事業所調査で何かあるか。

B 委員 問１６の括弧部分が少し狭い。

人権啓発・男女共同参画室長 広くする。

F 委員 問３の常用従業員数、私の会社の場合、定年後の再雇用では非常勤として雇用されている人、嘱託の人もある。その場合どちらに書けばいいのか少し分かりにくい。

総合企画部長 下に※で、再雇用は定年後の雇用で、雇用形態は問わない注釈を加える。

議長 中学生意識調査で何かあるか。

G 委員 問４の１５「クラブや部活動」のクラブはどのようなことか。

人権啓発・男女共同参画室長 学校のクラブだ。

G 委員 学校の中にクラブはない。「部活動や社会体育等」とすればいい。

問１２の３と４、子どもができるできないは妊娠した段階なのか、出産後のことなのか。事業所調査では出産後になっている。

E 委員 その１０か月のずれは中学生のアンケートにあまり影響がないと思う。このままの方が子どもには分かりやすい。

B 委員 「子どもが生まれるまで」でどうか。

E 委員 それでいいと思う。

(2) 男女共同参画基本計画の計画指標について

(事務局から資料２－１から２－２について説明)

議長 何か質問はあるか。

事務局 平成３１年４月では、審議会等女性比率が昨年３２．３％が３２．５％、女性管理職比率４．７％が６．６％、課長補佐相当・係長相当の女性比率１６．８％が２０．１％になっている。市役所職員において女性は、５０歳代では全体の２０％に満たない状況だが、若くなるにしたがって女性職員の比率は高くなって

いる。

(3) 男女共同参画基本計画推進状況（平成30（2018）年度実績・令和元（2019）年度計画）
の評価について

（事務局から資料3-1から3-3について説明）

人権啓発・男女共同参画室長 行政の事業について、皆さんから細かく見ていただき評価を受けたいのだが、今年度はアンケートの集計結果も意見をいただきたいので、今年度は丁寧さに欠けるが了解いただきたい。担当課が30年度の実績と今年度の事業目標を書いてくる。それを人権啓発・男女共同参画室で全体的な目で見えて評価をしたのが資料3-2の二次評価だ。その下の審議会委員の評価の部分は皆さんからいただいた意見をまとめていき、最終的に評価書ができる。今後一定期間を設け、意見をいただきながらまとめていきたい。

議長 私たち市民の側からすると、これが洩れているんじゃないのか、こうしてほしい、もっとこうなるんじゃないかとアイディアを書き込む。そう考えるとやりがいがあるし、おもしろい発見が出てくると思う。

B委員 「こんにち輪」は年に何回の発行か。

事務局 年1回だ。

B委員 男女共同参画は概念を伝えるにくいので、具体的な例がいいと思う。文字だけだととっつきにくく、読まないでどこかにいってしまう可能性が高いので、読んでいる人にも参加してもらおう。例えばDVであれば「平手でたたくのがDV？」と質問してそこから知ってもらい、〇が多かったら「よく知っている」。また、フローチャートで進むなど、見ている人が自分に置き換えて、更に具体的にこれはよくないんだという意識を植え付けるためにも、そういったものを入れると読んでもらえて理解を深めてもらえると思う。

E委員 自分がよく認識をするものは、どういうパターンが多いか。よく目にするポスター、テレビのCM、看板、毎日毎日見ていることで認識をする。年に1回冊子が折り込まれただけでは、興味がなければスルーしてしまう。

事務局 「こんにち輪」は、市民団体がどのようにしたら見てもらえるか工夫をして企画をしている。今回は女性活躍という形で、写真を載せて知っている人が出てくると見てくれるのではないかということになった。1年間の締めくくりの事業で発行していたが、今年度から年2回、市民向けに全戸回覧にしてみようと動き出している。「あいむ柏崎」として発行するので見ていただき、意見をいただければ有り難い。どういう企画がいいのか困っていたので、B委員がおっしゃったようなものを提案して、見てもらえる形にしていきたい。

B委員 今の時代、QRコードなどを入れればいいと思う。読み物は結構見ない。これからの世代の人たちに知ってもらいたいとなると、そのような媒体を考えた方がいいと思う。

- E 委員 広報かしわざきは見るが、一緒に挟まっている他は見ない。新聞広告やDMなどを拒否する人が若い世代で増えている。情報を伝える方法が難しい。
- 議長 重点目標 2 で何かあるか。教育界では、男女共同参画で問題点はあまりないように思う。小さい時から教育をしているので、自然とそういうものだと思っている。高校生になると、社会と家庭と教育の場のギャップを感じ、就職すると違う世界があるのが日本の現状だ。
- E 委員 2 年前も同じことを言わせてもらったが、評価は自己評価で根拠がない。実際にこの事業を受けた側の感想評価を記すべきではないかと話した。担当部署は一生懸命やっているので、A B 評価が当たり前だと思う。学校教育の場合だと、具体的な男女平等、男女共同という教育よりも、どちらかというと人権教育、同和教育の方が表に出ていると思う。P T A の研修でも同和教育が非常に多い。同和教育は普段から実感がない。なんでこんなに叫ばれるんだろうと思う。
- G 委員 教育では男女差別と男女平等を特化するものがない。人権、同和問題、ひっくりめた中でのということなので、現場で話題になることがない。
- 議長 男女共同参画も人権問題だ。室の名前が人権啓発・男女共同参画室だが、途中から変わった。
- E 委員 逆に男女共同と付いていることによって、そこに同和問題が出てきたときに、これは直接男女の問題とは関係がないのかと思う。ここに書いてある事業がこのテーマに該当するという判断は担当課が行っているのか。
- 人権啓発・男女共同参画室長 そうだ。
- E 委員 無理やりこじつけたようなものもある。
- 総合企画部長 計画を作っているのは人権啓発・男女共同参画室なので、担当課から上がってきているものは、最後は室で整理している。
- C 委員 一昨年、「男女共同参画に配慮した視点」を書いてほしいとして追記してもらった。担当課が計画を立てたものに対して、どういう視点でやってほしいかをコメントして、フィードバックしてほしいとしてこれを追加したが、私たちはこれを見て評価するのは難しいと感じる。私たちが現場に対して提起する、計画に対してちょっとずれているのではというようなことを提案できる形でいいかと思う。
- 重点目標 3 の働き方改革は 4 月から施行されているので、これから企業にしても同一労働同一賃金という話が出てくる。有給休暇の取得義務が発生し、男女平等の観点ではなく皆が取得しなければならなくなってくる。評価としては、企業が取るように働きかけなさいねと働き方関連が変わってくる、そのの視点を入れてくださいというように書くと思う。男女の話でなく働いている方全員になってくる。
- 議長 それぞれの立場から書いていただいて、総合的に事務局が文章化をする。日々の生活の中で自分の視点から書いていただければいい。
- B 委員 初めての人にとっては、これを見るのはかなり辛い。先ほど室長が基本目標 I

のところでかいつまんで言っていただいた。フォーラムなどのキーワードが入っていると読みやすくなる。重点目標１だったらフォーラムとこんにち輪、ワーク・ライフ・バランスセミナーの３つという感じで目印になるものが欲しい。

議長 資料３－２の文章の中にキーワードが出てくるので、読んでいただいて、そこから読み解いてもらって、また戻っていただくと読みやすいかもしれない。

B委員 この年度で力を入れていることなどがあれば助かる。

人権啓発・男女共同参画室長 重点目標ごとにキーワードをお示しして、改めて御覧いただき、気付いたことをお聞かせいただく形にさせていただきたい。ここに注目してほしいという資料をもう一度作りたい。

議長 キーワードもいいが、市民側の隙間をのぞくような感覚が大事だと思う。優秀な文章を書く必要はないと思う。

B委員 行政側の重点を見て、市民側としてその重点はどうなんだろうかということに気付けるといい。

議長 世界、日本、県、柏崎の動き、それぞれの実態とは別に安倍総理が女性活躍のことを言う。そうすると市は、国や県に沿って盛り込まなければならないが、市民は「別に…」という感覚もあると思う。そういうのを書いていただきたい。

人権啓発・男女共同参画室長 注目してもらいたいものを事業№をお示ししながら、皆さんからコメントをいただくような形にしていきたい。期限を決めながら、二次評価書は文書で何回かやり取りをして完成していきたい。

B委員 ７月の半ばくらいにいただいて、また皆さんで見つけ足して、秋ぐらいに完成となるのか。

総合企画部長 スケジュールをお示ししたいと思う。

(4) 平成３０（２０１８）年度男女共同参画推進事業報告について
(事務局から資料４について説明)

議長 質問はあるか。

(特になし)

５ その他

人権啓発・男女共同参画室長 次回の審議会は１２月中旬を予定している。アンケートの集約が終わっているので、お示しして意見をいただければと思っている。

６ 閉会あいさつ（副会長）